

♡+ ながえの里だより

【基本理念】 私たちは、すべての人に等しく 仁愛の精神を持って接し、
心の通う医療の実践に努めます。

【基本方針】 責任：生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する
安全：すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める
協調：チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める
奉仕：すべての患者さまを等しく仁愛の精神を持って接し医療を通じて社会に奉仕する

撮影地 世羅町
撮影者 山吉広尚

長野県原爆検診四十三年

深澤 嘉一



深澤嘉一医師

昭和四十年イリノイ大学から広大原医研に就職した次年がこの検診第一年で四十三年目に当たる。七月二十八日広島出発、暑い。中央線で木曾川を北上、島崎藤村著夜明け前の舞台だ。木曾御嶽山の煙は見えない。塩尻下車、三十余年ぶりの涼しさ。県庁の車で天龍川畔を下る。伊奈市には陸士同期で厚生大臣だった宮下創平君が居る。議員時代彼の後援会常任幹事として支援した。飯田市着。郷里静岡県に近い。検診第一日飯田保健所。問題の人はないが八十二・三才

以上、元砲部隊兵士で広島宇品で被爆後市内救援活動した人達。四十年前は若かったが加齢は明白で全て顔見知り。次の上田市に向かう。昔は江戸城大奥江島幽閉の高遠を経て諏訪大社を参拝し霧ヶ峰で夏尚寒い涼感を味わったが、今は高速道路。

製薬会社「キッセイ」を松本市に見て娯楽サービスエリアに到着。善光寺平一望の地で昔は田毎の月の名所。石板に句あり「おもかげや 姨ひとりなく 月の田や」芭蕉、「名月や 仏のように 膝をくみ」一茶。娯楽(棄老一年寄りを捨てる)山の故事は此処。

東信上田市に到着。広大学長だった飯島さんの郷里。イリノイ大での知人で著名なコンピューター学者、室賀さんのルーツ室賀の里は近い。千曲川を上れば「小諸なる古城のほとり」も近く、農村医学で有名な佐久農協病院があり、その病院を経て虎の門病院の熊田先生に紹介申し上げたO型肝炎患者の夫も軽井沢から来た。「暮れゆけば浅間を見えず」藤村詩集。噴煙も見えない。栗の小布施町岩松院で葛飾北斎の天井絵を見「やせ蛙まけるな一茶これにあり」一茶。句碑のあと、広島から来たならと福島正則の廟に参拝した。元広島五十万石の城主で此処で失意の内に死す。

松本では広島市出身で長野被爆者会長の前座氏が医学部門前でピカドン食堂を営む。松本、長野市共受診者多く、Kさん91才は私が申請をすすめて提出し、舛添厚労大臣からの認定証を今朝県知事経由で受け取ったので先ず私に見せるとの事でした。裁判などの手続きなしで一年かかった。この検診は続けるから私に健康に気をつけ必ず来いというので、必ず来ると約束して帰広した。あと五年行けば当方も八十五才を超える。

庄原と信州長野は山又山、似た風景だが長野の山は高く三千メートル級が雲の上にそびえています。



北斎晩年の傑作
「八方睨み鳳凰図」



火事を出さない

春の消防訓練を終えて 看護部2病棟



避難訓練後、消防署職員からの総評を受ける職員

5月20日に春の消防訓練を行いました。今回は昼間の火災を想定し、2病棟詰所を火元と仮定、消防署立会のもと実施しました。

当日は、患者様の家族にも協力して頂き、避難患者数をいつもより多めに設定して避難・誘導の訓練に重点を置き行いました。「火事を出さない」が一番大切なのですが、火事が起こった場合避難・誘導では大きな声でお互い確認しあう事が大切だとあらためて実感しました。訓練には参加者全員が緊張感を持ってのぞみ、的確に避難・誘導を行う事ができました。避難患者

者役の職員は、ベットや車椅子等での搬送を体験し、搬送される時の気持ち(恐怖心等)を体験しました。緊急時はスピードが求められる場合がありますが、日常ではゆっくりと、ゆとりのある介助を心がけ、患者様が移動される時に不快な思いをされないよう心掛けたいと思います。



栄養課職員による消火訓練

今年も夕立ちに・・・

庄原同仁病院花火大会



上空に忍び寄る黒い雲！！



会の始まり直後 天候急変・・・

8月6日、日中はうだる様な暑さでしたが、毎年恒例の花火大会が始まる夕方6時頃には、雲行きがややくなりました。患者様の為に、今年は庄原老人連合会の舞踊同好班の方々がボランティアで来てくださいました。始まりの挨拶が終わり、舞踊同好班の方々の踊りが始まると、すぐに夕立にみまわれました。患者様にはレクリエーション室へ移動していただき、あらためて舞踊同好班の方々に踊りを披露していただきました。踊りの後、患者様にはかき氷を食べてもらい、雨の中、職員の打ち上げる花火を廊下で見物してもらいました。

雨の中の花火大会になりましたが、患者様には、いつもと違う夏の一夜をすごしていただきました。 (三信正志)



会場は準備ばたん



庄原老人連合会舞踊同好班の方々

庄原老人連合会 舞踊同好班 のご紹介

今から30数年前に花柳流の教室として、庄原市老人連合会の舞踊の好きな人が集まり、舞踊同好班を発足され今に至っています。当時は、メンバーも40名近い方が活動されていたようですが今は10名くらいになり、「灯された灯は消さないように」と頑張っています。 (梅田笑子)

お互いを尊重して

新入職員自己紹介



ケアワーカー
中田 順子

分の仕方にまだまだついていけません。毎日が新しい発見で驚きと戸惑いだらけです。

この仕事を始めてみて感じたのは、笑顔と思いやり、そしてチームワークの大切さです。1人では出来ない仕事でいろいろな役割を持った人達が、お互いを尊重して患者様に携わっていかなくてはいけないものだと思います。いつも笑顔でいられるように、日々忙しい中でも心を穏やかに過ごしていきたいし、人としてお互いを尊重した態度で楽しく前向きに仕事が出来たらいいなと思っています。まだまだ、よちよち歩きの未熟なひよこですが、日々、いろいろな事を吸収して早くはばたけるようになりたいです。

四月から庄原同仁病院で働かせていただいている中田順子です。

働きはじめて、仕事の多さ、時間の流れ、配



テーマ 夏
挿絵 黒光浩二

毎日、楽しくやっています

レクリエーションの紹介



朝顔の工作



今日も元気にタオル体操



ロマンスに色を



習字教室



理学療法科スタッフ紹介

左から西村理学療法士 岩見典子 岩花和恵

【医事課】からのお知らせ

毎月1回、保険証及び各受給者証の資格確認をさせていただきます。
保険証に変更があったときは、速やかに受付窓口にて新保険証の提示をお願いします。



新聞委員のつぶやき ～毎日の日常生活で～ 伊達信介



自己管理

七月の初めに入浴介助中、私はちょっとした不注意から右排腹筋の肉離れをおこしてしまいました。患者さんには、怪我トラブルが無かったことが一番幸いなことでした。しかし、私は身体介護どころか、歩くことさえまともにできなくなり、仕事を休ませてもらうことになりました。1病棟の患者さん、スタッフの皆さんに大変なご迷惑をかけてしまい、お詫びすると共に私も反省しています。

右足を負傷して、まともに歩けないことがこんなにつらいものなのかと、階段を始めとした段差では、特に右足をかばって左足に意識的に力がいり、左大腿部が痛くなくなりました。(・・・悲) 障害のある方々は、毎日こうした肉体的、精神的な苦痛があるんだと考えさせられました。介護させてもらう身として自分自身いい経験をさせてもらったと思います。

これからは、常日頃から業務に集中して、患者さんに対してはもちろん、自己の健康管理に努め、安全対策を学んでいかなければいけないと私自身思っています。



庄原市 日野滝

撮影者 中井章栄